

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	1	選択
担当教員			
蜂須賀 のぞみ			
火3、4			
添付ファイル			

科目の概要	<p>本科目は、栄養教諭の免許取得のために必要な栄養教育実習の事前事後指導である。栄養教育実習の目的、および意義を理解し、教育者としての人間性を養い、実習に必要な知識・技術を高めて、実習への期待感と心構えを養い、教育実習が効果的に進められるように演習を中心に講義を行う。実習校の食教育の実態をつかみ、児童・生徒の実情に相応しい食教育の実践ができるよう教材や指導法を研究し、学習支援の方法を検討して授業力を高める。また、栄養教諭の日常の業務、給食の時間の指導等についての実践力を高めて、教育実習が有意義なものとなるよう支援する。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 教育実習の目的と意義、実習内容や心構え、実習への準備等の説明をする。</p> <p>第2回 食に関する指導の事例研究 教科や学級活動における食に関する指導の事例をDVDや学習指導案を示し説明する</p> <p>第3回 模擬授業のための学習指導案作成 実習校の実態を掴み、教材研究、指導法を研究して学習指導案の作成を行う。 <板書計画、発問計画、ワークシート、学習教材、および細案等を研究し作成する。></p> <p>第4回 学校給食の管理 学校における栄養教諭の位置づけ、給食の管理状況、栄養教諭の日常の職務等についての調査・研究を行う。</p> <p>第5回 給食の時間の指導 給食の時間の指導の事例研究、給食指導週案の作成を行う。</p> <p>第6回 模擬授業の演習および相互批評① 学級活動等における食に関する指導を、各1名が、1校時（45分）の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第7回 模擬授業の演習および相互批評② 学級活動等における食に関する指導を、各1名が、1校時（45分）の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第8回 模擬授業の演習および相互批評③ 学級活動等における食に関する指導を、各1名が、1校時（45分）の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第9回 模擬授業の演習および相互批評④ 学級活動等における食に関する指導を、各1名が、1校時（45分）の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第10回 模擬授業の演習および相互批評⑤ 学級活動等における食に関する指導を、各1名が、1校時（45分）の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第11回 模擬授業の演習および相互批評⑥ 学級活動等における食に関する指導を、各1名が、1校時（45分）の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第12回 模擬授業の演習および相互批評⑦ 学級活動等における食に関する指導を、各1名が、1校時（45分）の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第13回 模擬授業総合評価 学習指導案、授業展開等の評価をする。</p> <p>第14回 教育実習中のコミュニケーションスキル 教職員や児童・生徒との対応能力の向上、対応を工夫する演習を行う。</p> <p>第15回 教育実習準備ガイダンス 教育実習中の留意事項、実習ノートの書き方、実習のための事前活動の説明をする。</p>
学習到達目標	<p>①教育者としての資質、人格、識見を養い、栄養教諭としての基礎知識・技術を身に付ける。 ②教育実習に備えて、学習指導案作成、模擬授業の展開などの実践力を身に付ける。 ③児童・生徒への関わり方、コミュニケーションのとり方を研究し、教育実習に備える。</p>
授業の方法	演習方式
成績評価の方法	学習指導案レポート：50%

	模擬授業 < 授業構成 (授業展開)、指導力、学習教材、板書、ワークシート > : 40% 授業参加意欲・態度 : 10%
教科書・テキスト	栄養教諭論 ―理論と実践― 建帛社 (3年時に使用した物なので購入は不要) 学習指導要領 文部科学省
参考書	食に関する指導のための参考書、食育の本
授業時間外の学修について (事前・事後学習について)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習校に2~3回訪問し、実習についての打ち合わせ及び実習校の実態把握をする。 ・食に関する指導の事例、授業法の研究を行う。 ・授業展開のための学習教材作り、ワークシート作成等について時間外で準備をする。
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職に関する科目」「栄養にかかる教育に関する科目」が履修済みであること。 ・授業時間数に制限があるため決められた日・時間までに学習指導案作成、教材作りなど演習の準備を行うこと。 ・教育者としての人格を備え、人間性を養うこと。
オフィスアワー	授業時間後研究室にて
実務経験	管理栄養士 学校栄養職員 栄養教諭
その他	特に無し